

「夢のまた夢」だった
シラスの工業資源化に成功

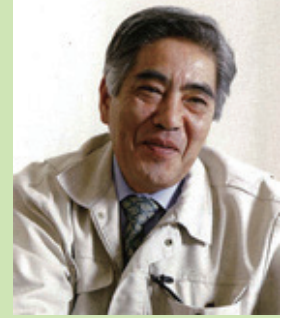
株式会社 ストーン ワークス

鹿児島県

曽於郡大崎町野方2980

1990年(平成2年)設立
TEL 099-478-3149

<http://www.stoneworks.co.jp>



代表取締役
上中 誠

半世紀に及びシラス活用研究を覆し、緑化基盤材として工業資源化

シラスの工業資源化に成功

火山噴出物であるシラスの活用は、半世紀に及び幾多の研究にもかかわらず、含水率の高さ、比重の小ささ、粒子の細かさ・形状の悪さのため工業資源化が難しく、もっぱら埋め立て用でしかなかった。上中社長と鹿児島県工業技術センター（袖山主任研究員）との共同研究により、こうした困難を克服し、セメント添加量を最小限に抑え(2~12%)、安価なシラスを主原料とすることで(88~98%)、高品質かつ低コストの建設ブロック、緑化基盤材の開発に成功した。



従来不可能だった軌道内の緑化も実現

同社の製品は、軽量かつ断熱性・耐火性・透水性・保水性（含水率30~52%）に優れており、切断加工や釘打ちも容易で高い施工性を確保している。さらに、植物との相性も良く芝生の根付きも良いため、従来は不可能だった路面電車の軌道内や、駐車場、屋上等の緑化材、保水性舗装材として施工実績を積み重ねている。また、都市部におけるヒートアイランド現象の緩和など、地球環境への貢献という面でも同社製品は評価されている。



(シラス)

鹿児島県内には、東京ドーム40万杯に匹敵する膨大なシラスが堆積しているとも言われている



(施工例:鹿児島中央駅前市電軌道内)